

「がんばれ日本！世界は日本と共にある」(世界各地でのエピソード集:ハンガリー)

2011年6月21日現在 在ハンガリー日本国大使館

国・地域名	日時	実施団体	内容
ハンガリー	3月16日	国会本会議出席議員 (クヴェール国会議長)	本会議冒頭で、地震の被災者及び犠牲者に対して哀悼の意を表し、その後全員が1分間の黙祷。
	3月22日	国際教会援助機構 (NGO)	電話募金を開始(学校の復興に使用予定)。
	3月22日	リスト音楽院の日本人留学生	日本人学生らによるコンサートで、主催者を代表して元在京ハンガリー大使が弔意を表明し、黙祷。募金箱を設置して義捐金を集めた。
	3月24日	ブダペスト市ヴァーロ シュマヨル高校	大震災被災者支援のための「募金デー」を開催。日本のロータリークラブから派遣された女子高生留学生や日本語を学ぶハンガリー人生徒たちが、手作りのしおり、飴、お寿司などを校内で販売。また、学校の生徒・職員たちが総出で千羽鶴が折られ、大きな布製の日の丸に生徒たちが書いた寄せ書きが作られた。
	3月25日	ハンガリー国立フィル ハーモニー	演奏会の冒頭、世界的に著名なピアニストで指揮者のゾルターン・コチシュより、ハンガリー語、日本語、英語による犠牲者への哀悼の念、被災者へのお見舞いの表明が行われ、その後、モーツァルトの「フリーメソンのための葬送曲」を演奏、会場全体で一分間の黙祷を捧げた。
	3月28日	ハンガリー政府	ハンガリー政府が提供する1千万フォリント総額の緊急物資支援の中に、日本人の口に合うように、ハンガリー製日清カップラーメン約40、000個が含まれた(日清食品はハンガリーに工場を有し、主に欧州向けに製品を生産している)。
	3月28日	リスト音楽院交響楽 団	定期コンサートを追悼コンサートとして開催。
	3月29日	ハンガリー日本友好 協会セーケシュフェ ヘルヴァール支部	盆栽に関する講演会にて、講演席に喪章を取りつけ、講演会の間中ロウソクに火を灯すことで、日本への連帯を示した。
	3月～	武道団体シュハリ道 場	チャリティー人形(舞子人形)を販売。

3月～	ハンガリー・バプテスト教会援助(NGO)	「義援金チケット」を1枚2000フォリントで販売。
4月～	Zwack社	チャリティー・プレスレットを販売。
4月～	Greater Grace International School	児童生徒が募金活動。
4月～	カーロリ・ガーシュパール・カルビン派大学日本学科の学生	震災直後からブダペスト市内の駅前や繁華街などでの募金活動を開始。募金者へのお礼として、学生たちが自分たちで折り鶴も用意。
4月3日	American International School of Budapest	インターナショナルフェスティバルにて、日本ブースの売り上げの一部を募金。また、学校でも募金活動を行った。
4月4日	ソルノク交響楽団	ソルノク大学内ホールでの演奏会場で東日本大震災の惨状を伝える写真展を開催。2007年よりソルノク市の音楽総監督を務める井崎正浩氏が指揮する演奏会では、冒頭、東日本大震災の犠牲者への追悼のために、モーツァルトの「フリーメイソンのための葬送音楽」を演奏。
4月6日	ハンガリー郵便	義捐金寄付を目的として発行している「義捐金切手」について、6月30日までの売り上げ分(1枚につき100フォリント)を日本に寄付すると発表。
4月7日	スポーツバーLegend	日本食ビュッフェで義捐金を募るチャリティーイベントを開催。
4月7日 4月9日	ブダペスト市バビッチ・ミハイ高校	7日、大震災被災者支援のための募金活動。同高校内の11の教育機関がこれに参加。9日、チャリティーイベントを開催(太鼓コンサート、折り紙、カラオケ、書道、寿司デモ、生け花など)。
4月8日	The British International School, Budapest	“Japan Day”とし、各教室で東日本の現状について話し合い、また特別集会も設けた。全校で赤もしくは白を身につける、折鶴を配る、レモネードを販売する等の募金活動を行った。

4月9-10 4月16-17	ELTE大学植物園	毎年恒例のお花見イベント「桜デー」で募金。
4月9日	Budapest Jazz Club	ジャズピアニストのクリヤ・マコト(日本人)とピーター・シャリク(ハンガリー人)が義捐金を募るチャリティーコンサートを開催。
4月9日	国立バレエ学校	生徒によるチャリティー公演。留学中の日本人学生も出演。
4月9日	ブダペストで活動する和太鼓グループ、Hungary-Japan Friendship Orchestra、日本人演奏家	旧リスト音楽院ホールでチャリティーコンサートを開催。
4月12日	一般市民	日本人駐在員に家を貸す大家が「震災のために寄附してほしい」として1ヶ月分の家賃を受け取らなかった。(家賃はそのまま義捐金として寄附された。)
4月14日	Drawing Room Hungary	美術品のチャリティーオークション「HELP JAPAN Silent auction」を開催。ハンガリー人、(ロンドン在住の)日本人芸術家等の作品が出品された。
4月18日	日本食レストラン「Nobu」、ハンガリー・バプテスト教会援助(NGO)	チャリティー・ディナーを開催。
4月18日	ブダペスト市メイクスネル小学校	大震災犠牲者を祈念して桜の木を植樹。
4月22日	ハ日友好協会、ハンガリー手工芸者連盟、竹林レストラン、Artstation文化芸術創作者協会	「日本のためのチャリティーデー」を開催。ハンガリー手工芸者連盟の製品の販売、竹林レストランが出店して日本料理を販売、募金箱を設置。プログラムとして、着物デモンストレーション、日本の茶碗製作デモンストレーション、日本食試食会、ハンガリーの手工芸品販売。

4月25日	民間ラジオ局 Juventus Radio、バプ テスト教会援助(NG O)	大型イベントホールSyma Csarnokにて、ロック、ポップミュージック系の25人のアーティストによる“Zen-aid for Japan”を開催。
4月27日	ハンガリー日本友好 協会ケストヘイ支部、 人生の樹学園	ケストヘイ市内の劇場でチャリティーコンサート。 コンサートの休憩時間に、募金、チャリティーオークションを実施。
4月27日	ハンガリー日本友好 協会、シュディ元駐日 大使、サバディ・ウィ ルモシュ氏(バイオリ ニスト)	ハンガリー科学アカデミー大ホールにおいて、著名なハンガリー人演奏家による、チャリティーコンサートを開催。ショーヨム前大統領 が出席。コンサートの後援者に、シュミット大統領夫妻、ショーヨム前大統領夫妻、マードル元大統領夫妻、ゲンツ元大統領夫妻が就 任。寄付金は、ハ日友好協会から日ハ友好協会経由で被災地に送られる。なお、このコンサートで集まったお金がすべて日本に行くよ うに、コンサート開催に関わる経費・人件費はすべてボランティア、無料。
4月29日	ハンガリー家族経営 連盟	募金を募るパーティHELP JAPAN PARTYを開催。入場者にfor Japanと書かれたリストバンドを配布し、リストバンド代金を徴収して義 捐金に充てた。
4月30日 5月1日	ホップ・フェレンツ東 アジア博物館、ラー ツ・ジュルジ博物館	「日本の日」を開催。講演会、映画上映会、デモンストレーション、コンサートなど多彩なプログラム。 本や写真、お菓子、土産物、瀬戸物、人形などの販売、募金による収益金が寄附された。
4月30日	リスト音楽院の日本 人留学生	旧リスト音楽院ホールでチャリティーコンサート“Pray for Japan in Budapest”を開催。
4月30日	バルトーク記念館	3人の奏者(クラリネット、バス・クラリネット、ピアノ)が入場無料のチャリティーコンサートを開催。
4月30日	リスト音楽院の教授	パンノン大学(Veszprem)でチャリティーコンサート。
5月2日	音楽ネット配信事業 を行うFotexnet社	売り上げ全額を被災者支援に寄付するアルバム(ネット上での配信のみ)「Hungarian Classics for Japan」の配信を開始。楽曲はベ ートベン、チャイコフスキー、モーツァルト、リスト、グリンカで、うち半分は演奏者が日本人あるいは日本のオーケストラ。

5月6日	ヴェスプレーム県の 芸術家	ヴェスプレーム県立図書館にて作品のオークション。
5月7日	日本人留学生と国立 合唱団	マーチャーシュ教会において追悼コンサート(モーツァルトの「レクイエム」)。オーケストラおよびソリストはリスト音楽院の学生から構成され、合唱を国立合唱団が担当。オーケストラ指揮は国立合唱団の指揮者アンタル・マーチュアーシュ。コンサート実現においては、国立フィルハーモニーが楽譜提供、リハーサル会場提供、無償出演等で全面的に協力。リスト音楽院声楽科教授で歌手のパースティ・ユーリアがソリストの指導に当たる。マーチャーシュ教会は会場費を半額割引。
5月8日	日本人留学生	Balatonalmadiのワイン蔵にてチャリティーコンサート。
5月11日	パクシュ原発 労働組合	パクシュ原発労働組合員約200名は、同原発付近において、福島第一原発の労働者に対する「連帯のための行進」を実施。行進後、数名の代表者が日本大使館を訪れ、同原発労働者から福島第一原発労働者に宛てて連帯の意を表する書簡及びその趣旨に賛同する約750名分の署名を大使館に手交。
5月14日	在ハンガリー日本商 工会	商工会主催ソフトボール大会において募金箱を設置し、参加者から集まった義捐金を日本赤十字経由で被災者に寄付。
5月21日	ブダペスト日本人学 校	毎年恒例の古本市「青空ブックフェスタ」で児童生徒会が募金活動。
5月22日	第6回タップダンス・ フェスティバル	ハンガリー人の日本語通訳が縁のあった気仙沼市のために「がんばれ気仙沼！」のポスターを作成。タップダンス・フェスティバルに会場した観客・参加者にサインしてもらい、サイン人数分X1,000フォリントを、スポンサー企業が、ポスターとフェスティバルのDVDと共に気仙沼市に寄付。
5月23日	裏千家ハンガリー支 部と座禅団体「 ZENDO ONE DROP」 他	ブダペストのMucsarnok(美術展示場)において、Egy tea Japanert(One tea for Japan)と題し、お茶、座禅、音楽の3つを融合してのチャリティーイベントを実施。
5月27日	グドゥルー市	グドゥルー宮殿にて桜の木の植樹セレモニーとチャリティーコンサート。
5月28日	在留邦人5人バンド 「東京アールハーズ」 チャリティーライブ	在留邦人5人バンド、東京アールハーズ「がんばろう日本！」チャリティーライブ。 当日、東京アールハーズ特製リストバンド(500HUF)を販売し、その売上金を義援金として送金。
5月30日	International Children's Safety Service	毎年恒例の恵まれない子供達のためのチャリティーコンサートを、今年は東日本大震災被災地児童のために実施。

6月7日	ハンガリー空手連盟	ハンガリー空手連盟が、ハ日友好協会に義捐金50万フォリントを寄付(於:竹林レストラン)。この義捐金は、ハ日友好協会が日ハ友好協会に送金。
6月18日	ニーレジハーザ市 Cantemus合唱団と 同市ロータリー・クラブ	東日本大震災・原発事故被災地のためのチャリティーコンサート。東京からも「Theodori混声合唱団」が出演。
6月19日	若手音楽家	バッハプログラムのコンサート(於:聖ミハイイ教会)。昨年末より企画されていたコンサートだが、東日本大震災を受けて、チャリティーコンサートに変更。ハンガリー国立オペラ室内オーケストラがバッハの時代のオリジナル編成でバックアップ共演。
		その他、各地で募金活動やチャリティーイベントが開催されている。また、金融・経済危機の直撃を受け一般市民の生活が厳しいハンガリーでは、募金はできないが、せめて日本の子どもを一定期間預かりたい、あるいは、お金はないが健康な腕が2本あるのでボランティアに行きたい、といった「お金はないが労働や育児だったら手伝えることがあるのではないか」という心暖かいオファーも大使館に多数寄せられている。